

中1数学A 2020年度春期講習 文字式とその応用

§4 大小の評価

※ 欠席してしまった場合は、問 4.1, 問 4.2 を確認し、p.31 の宿題 H4.1～H4.3 に取り組んで提出して下さい。余裕があれば全問解きましょう。

問4.1 文字はすべて正の数だとする。

$$(1) \frac{1}{n+1} = \frac{3}{3n+3} > \frac{3}{3n+4} \text{ なので、} \boxed{\frac{1}{n+1} \text{ の方が大きい。}}$$

ここで、 $\boxed{a < b \text{ のとき } \frac{c}{a} > \frac{c}{b}}$ を用いた。

$$(2) \frac{n}{2n+1} < \frac{n}{2n} = \frac{1}{2}, \frac{n}{2n+2} < \frac{n}{2n} = \frac{1}{2}, \frac{n}{2n+3} < \frac{n}{2n} = \frac{1}{2} \text{ なので、}$$

$$\frac{n}{2n+1} + \frac{n}{2n+2} + \frac{n}{2n+3} < \frac{1}{2} + \frac{1}{2} + \frac{1}{2} = \frac{3}{2} \text{ である。}$$

すなわち、 $\boxed{\frac{3}{2} \text{ の方が大きい。}}$

ここで、 $\boxed{a < b \text{ かつ } c < d \text{ のとき } a + c < b + d}$ を用いた。

$$(3) 2^3 = 8, 3^2 = 9 \text{ なので、} 2^3 < 3^2 \dots \textcircled{1}$$

$$5^3 = 125, 2^7 = 128 \text{ なので、} 5^3 < 2^7 \dots \textcircled{2}$$

①より、

$$(2^3)^7 < (3^2)^7$$

$$\underbrace{2^3 \times 2^3 \times \dots \times 2^3}_{7\text{個}} < \underbrace{3^2 \times 3^2 \times \dots \times 3^2}_{7\text{個}}$$

$$2^{3 \times 7} < 3^{2 \times 7}$$

$$2^{21} < 3^{14} \dots \textcircled{3}$$

同様に②より、

$$(5^3)^3 < (2^7)^3$$

$$5^9 < 2^{21} \dots \textcircled{4}$$

③, ④より、

$$5^9 < 3^{14} \text{ が成り立つ。}$$

ここで、

$$\boxed{a < b \text{ のとき } a^n < b^n \text{ (} n \text{ は自然数)}}$$

$$\boxed{a < b \text{ かつ } b < c \text{ のとき } a < c}$$

を用いた。

問4.2

- (1) $\frac{11}{22} < \frac{11}{12} < \frac{11}{11}$ つまり $\frac{1}{2} < \frac{11}{12} < 1$ なので、 $\frac{11}{12}$ を超えない最大の単位分数は $\frac{1}{2}$ です。

$\frac{11}{12}$ から $\frac{1}{2}$ を引くと $\frac{11}{12} - \frac{1}{2} = \frac{11}{12} - \frac{6}{12} = \frac{5}{12}$ となるので、 $\frac{11}{12} = \frac{1}{2} + \frac{5}{12}$ と書けます。

$\frac{5}{15} < \frac{5}{12} < \frac{5}{10}$ つまり $\frac{1}{3} < \frac{5}{12} < \frac{1}{2}$ なので、 $\frac{5}{12}$ を超えない最大の単位分数は $\frac{1}{3}$ です。

$\frac{5}{12}$ から $\frac{1}{3}$ を引くと $\frac{5}{12} - \frac{1}{3} = \frac{5}{12} - \frac{4}{12} = \frac{1}{12}$ となるので、 $\frac{5}{12} = \frac{1}{3} + \frac{1}{12}$ と書けます。

以上より、 $\boxed{\frac{11}{12} = \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{12}}$

$\frac{3}{9} < \frac{3}{7} < \frac{3}{6}$ つまり $\frac{1}{3} < \frac{3}{7} < \frac{1}{2}$ なので、 $\frac{3}{7}$ を超えない最大の単位分数は $\frac{1}{3}$ です。

$\frac{3}{7}$ から $\frac{1}{3}$ を引くと $\frac{3}{7} - \frac{1}{3} = \frac{9}{21} - \frac{7}{21} = \frac{2}{21}$ となるので、 $\frac{3}{7} = \frac{1}{3} + \frac{2}{21}$ と書けます。

$\frac{2}{22} < \frac{2}{21} < \frac{2}{20}$ つまり $\frac{1}{11} < \frac{2}{21} < \frac{1}{10}$ なので、 $\frac{2}{21}$ を超えない最大の単位分数は $\frac{1}{11}$ です。

$\frac{2}{21}$ から $\frac{1}{11}$ を引くと $\frac{2}{21} - \frac{1}{11} = \frac{22}{231} - \frac{21}{231} = \frac{1}{231}$ となるので、 $\frac{2}{21} = \frac{1}{11} + \frac{1}{231}$ と書けます。

以上より、 $\boxed{\frac{3}{7} = \frac{1}{3} + \frac{1}{11} + \frac{1}{231}}$

- (2) $\frac{2}{4} < \frac{2}{3} < \frac{2}{2}$ なので、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{2}$ と $\frac{1}{1}$ の間にある。

$\frac{2}{6} < \frac{2}{5} < \frac{2}{4}$ なので、 $\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{3}$ と $\frac{1}{2}$ の間にある。

$\frac{2}{8} < \frac{2}{7} < \frac{2}{6}$ なので、 $\frac{2}{7}$ は $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ の間にある。

- (3) (2)より、 $\frac{2}{3}$ を超えない最大の単位分数は $\frac{1}{2}$ であり、

$\frac{2}{3} - \frac{1}{2} = \frac{4}{6} - \frac{3}{6} = \frac{1}{6}$ なので、 $\boxed{\frac{2}{3} = \frac{1}{2} + \frac{1}{6}}$ と表せる。

- (2)より、 $\frac{2}{5}$ を超えない最大の単位分数は $\frac{1}{3}$ であり、

$\frac{2}{5} - \frac{1}{3} = \frac{6}{15} - \frac{5}{15} = \frac{1}{15}$ なので、 $\boxed{\frac{2}{5} = \frac{1}{3} + \frac{1}{15}}$ と表せる。

- (2)より、 $\frac{2}{7}$ を超えない最大の単位分数は $\frac{1}{4}$ であり、

$\frac{2}{7} - \frac{1}{4} = \frac{8}{28} - \frac{7}{28} = \frac{1}{28}$ なので、 $\boxed{\frac{2}{7} = \frac{1}{4} + \frac{1}{28}}$ と表せる。

(4) $2n < 2n+1$ より $\frac{2}{2n+1} < \frac{2}{2n} = \frac{1}{n}$ です。

$2n+1 < 2n+2 = 2(n+1)$ より $\frac{2}{2n+1} > \frac{2}{2(n+1)} = \frac{1}{n+1}$ です。

以上より、 $\frac{1}{n+1} < \frac{2}{2n+1} < \frac{1}{n}$ です。

(5) (4)より、 $\frac{2}{2n+1}$ を超えない最大の単位分数は $\frac{1}{n+1}$ なので、

$\frac{2}{2n+1}$ から $\frac{1}{n+1}$ を引いてみると、

$$\frac{2}{2n+1} - \frac{1}{n+1} = \frac{2(n+1) - (2n+1)}{(2n+1)(n+1)} = \frac{2n+2-2n-1}{(2n+1)(n+1)} = \frac{1}{(2n+1)(n+1)}$$

これより、

$$\boxed{\frac{2}{2n+1} = \frac{1}{n+1} + \frac{1}{(2n+1)(n+1)}} \text{と表せることがわかります。}$$

問4.3

(1) 好き勝手に予想してみましょう。ちなみに、電卓で計算してみると、

$$\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \frac{1}{5} + \frac{1}{6} = 2.45$$

$$\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \cdots + \frac{1}{10} = 2.92896\cdots$$

となります。

(2) $\frac{1}{4} > \frac{1}{6}$ なので $\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} > \frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{6} = 2 = \frac{4}{2}$ ですが、

$\frac{1}{3} < \frac{1}{2}$, $\frac{1}{4} < \frac{1}{2}$ なので $\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} < \frac{2}{2} + \frac{1}{2} + \frac{1}{2} + \frac{1}{2} = \frac{5}{2}$ です。

よって、 $\boxed{\text{ア}}$ に入る最大の自然数は $\boxed{4}$ です。

(3) $\frac{1}{5} > \frac{1}{8}$, $\frac{1}{6} > \frac{1}{8}$, $\frac{1}{7} > \frac{1}{8}$ なので $\frac{1}{5} + \frac{1}{6} + \frac{1}{7} + \frac{1}{8} > \frac{1}{8} + \frac{1}{8} + \frac{1}{8} + \frac{1}{8} = \frac{1}{2}$ です。

これと(2)でわかっている $\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} > \frac{4}{2}$ を合わせて、

$$\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \frac{1}{5} + \frac{1}{6} + \frac{1}{7} + \frac{1}{8} > \frac{4}{2} + \frac{1}{2} = \frac{5}{2} \text{を得ます。}$$

よって、 $\boxed{\text{イ}}$ には $\boxed{5}$ が入ります。

(4) $\frac{1}{9} > \frac{1}{16}, \frac{1}{10} > \frac{1}{16}, \dots, \frac{1}{15} > \frac{1}{16}$ なので

$$\frac{1}{9} + \frac{1}{10} + \dots + \frac{1}{15} + \frac{1}{16} > \underbrace{\frac{1}{16} + \frac{1}{16} + \dots + \frac{1}{16}}_{8\text{個}} = \frac{8}{16} = \frac{1}{2} \text{ です。}$$

これと(3)でわかっている $\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \frac{1}{5} + \frac{1}{6} + \frac{1}{7} + \frac{1}{8} > \frac{5}{2}$ を合わせて、

$$\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \dots + \frac{1}{15} + \frac{1}{16} > \frac{5}{2} + \frac{1}{2} = \frac{6}{2} \text{ を得ます。}$$

よって、ウには6が入ります。

(5) (3)では $\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{2^3} > \frac{5}{2}$ がわかっている、それを利用して

(4)では $\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{2^4} > \frac{6}{2}$ を導きました。同じように、

$$\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{2^k} > \frac{k+2}{2} \text{ がわかっているならば、それと}$$

$$\frac{1}{2^k+1} + \frac{1}{2^k+2} + \dots + \frac{1}{2 \times 2^k} > \underbrace{\frac{1}{2 \times 2^k} + \frac{1}{2 \times 2^k} + \dots + \frac{1}{2 \times 2^k}}_{2^k\text{個}} = \frac{2^k}{2 \times 2^k} = \frac{1}{2}$$

を合わせることで

$$\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{2 \times 2^k} > \frac{k+2}{2} + \frac{1}{2} \text{ を、すなわち、}$$

$$\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{2^{k+1}} > \frac{k+3}{2} \text{ を導くことができます。}$$

この作業を繰り返すことで、一般に、 $\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{2^m} > \frac{m+2}{2}$ が成り立つことが

わかります。これはどんな大きな自然数 m についても成り立つので、

$$\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{n} \text{ の値は } n \text{ を大きくしていくと } \boxed{\text{いくらでも大きくなる}} \text{ ことが}$$

わかります。